

光市医師会報

平成19年(秋)10~12月号

No.398



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

10~12月の医師会長

10月 2日 (火)	聖華保育園
10月 5日 (金)	講演会 (徳山)
10月 9日 (火)	理事会 (事務局)
10月11日 (木)	地域医療支援病院審議会 (徳山医師会病院) 講演会 (徳山)
10月12日 (金)	講演会 (岩国)
10月21日 (日)	講演会 (東京)
10月23日 (火)	月例会 (商工会議所)
10月25日 (木)	山口県医師会代議員会 (山口県医師会) 介護認定審査会 (あいぱーく)
10月28日 (日)	周南医学会 (周防大島町)
11月 1日 (木)	就学児健診 (三井小) 講演会 (周南)
11月 3日 (土)	医師会旅行
11月 6日 (火)	大和保育園健診
11月 7日 (水)	講演会 (周南)
11月 8日 (木)	公益法人説明会 (山口)
11月 9日 (金)	周南三市役員会 (松原屋)
11月13日 (火)	理事会 (事務局)
11月15日 (木)	介護認定審査会 (あいぱーく)
11月22日 (木)	講演会 (山口)
11月23日 (金)	休日診療所 (あいぱーく)
11月27日 (火)	例会・講演会 (商工会議所)
11月28日 (水)	糖尿病研究会 (周南)
11月29日 (木)	光市高齢者健康増進会議 (あいぱーく) 包括支援センター連絡会議 (あいぱーく) 講演会 (山口)
12月 4日 (火)	平生看護専門学校講義
12月 8日 (土)	AED講習会 (あいぱーく)
12月11日 (火)	理事会 (事務局) 平生看護専門学校講義
12月13日 (木)	郡市会長会議 (山口県医師会) 介護認定審査会 (あいぱーく)
12月14日 (金)	忘年会 (金久)
12月18日 (火)	平生看護専門学校講義 講演会 (商工会館)
12月31日 (月)	休日診療所 (あいぱーく)



10~12月の医師会活動

I. 10/ 9(火)	10月・定例理事会	(光商工会館 2F)
II. 10/23(火)	学術講演会&月例会	(医師会事務所)
III. 11/ 9(金)	周南三市役員会	(松原屋)
IV. 11/13(火)	11月・定例理事会	(光商工会館 2F)
V. 11/27(火)	学術講演会&月例会	(医師会事務所)
VI. 12/11(火)	11月・定例理事会	(光商工会館 2F)
VII. 12/14(金)	忘年会	(金久旅館)

I. 10月定例理事会

日時:平成19年10月9日(火)午後7時30分より

場所:医師会事務局

議題:

I. 報告事項

1. 郡市長会議(9/27)

(河村会長)

2. 郡市医師会産業保健担当理事協議会 (10/4)

(平岡理事)

資料① 2. 平成19年郡市医師会産業保健担当理事協議会

日時:平成19年10月4日(木)15:00~17:00

場所:山口県医師会館 6階 大会議室

1. 職場におけるストレスの緩和について
山口県産業保健センター相談員 塩谷光子
2. メタボリックシンドローム(特定健診・特定保健指導)について
佐々木外科病院総合健診センター長 岩本節子
特定健診5000円以下、特定保健指導20000円以下
来年度のスタート危うい、5年間継続も危うい
特定健診と特定保健指導は別とのこと
医師会でデータを集めて電算報告システムにする(下関)
3. 第29回産業保健活動推進全国会議の報告
来年度から50人未満の事業所でも個別面接指導が始まる。
産業保健センターの管轄か。
事業者健診はアウトソーシングが進んでいるが
医療保険者はデータを入手出来る。



II. 学術講演会&月例会

VSRAD使用経験の報告19:15~

「認知症診断におけるVSRADの使用経験」

講師 光中央病院 院長 丸岩 昌文先生

特別講演19:30~

「アルツハイマー型認知症の早朝画像診断
— VSRADを中心に」

講師 埼玉医科大学国際医療センター 核医学
教授 松田 博史先生



日時:平成19年10月23日(火)19時より

場所:光商工会館2階 大会議室

認知症診断における
VSRADの使用経験

医療法人 陽光会 光中央病院
内科 丸岩 昌文
放射線部 森川 真裕

平成19年10月23日(火)
光市医師会学術講演会

HIKARI CENTRAL HOSPITAL

VSRAD VSRADの概要

VSRADは前駆期を含む早期アルツハイマー型認知症(痴呆)に特徴的に見られる海馬傍回の萎縮の程度をMRI画像から読み取るための画像処理・統計解析ソフトウェアです。

前駆期を含む早期アルツハイマー型認知症(痴呆)において健常高齢者との鑑別では80%以上の正診率となることが確認されています。

被験者のDICOM画像を入力し、簡単な操作で健常者との異常の度合いを解析し、画面表示およびプリンタ印刷を行うことができます。

VSRADはWindows上で動作する単一のアプリケーションで、高度な専門知識や、専用ソフトウェアは必要ありません。

*アルツハイマー型認知症(痴呆)診断の基本は「定診と経過」で、臨床情報を元に医師の総合的な判断が必要となります。
*画像診断は、補助検査であり、可能であれば実施することが望ましい(日本老年精神医学会、ADの診断/治療マニュアル)との位置づけです。

患者背景

- ・ 当院にてMRI撮影時にVSRADを測定できた195症例について解析した。
- ・ 平均年齢70.68歳 (21歳~96歳)
- ・ 男性87名、女性108名
- ・ VSRAD(Zスコア)平均値 1.43
- ・ HDS-R平均値 22.61
- ・ 年齢・VSRAD(Zスコア)・HDS-R・MMSE・臨床的な認知症有無等について各項目の相関を検討した。

HIKARI CENTRAL HOSPITAL

患者背景

- ・ 当院にてMRI撮影時にVSRADを測定できた195症例について解析した。
- ・ 平均年齢70.68歳 (21歳~96歳)
- ・ 男性87名、女性108名
- ・ VSRAD(Zスコア)平均値 1.43
- ・ HDS-R平均値 22.61
- ・ 年齢・VSRAD(Zスコア)・HDS-R・MMSE・臨床的な認知症有無等について各項目の相関を検討した。

HIKARI CENTRAL HOSPITAL



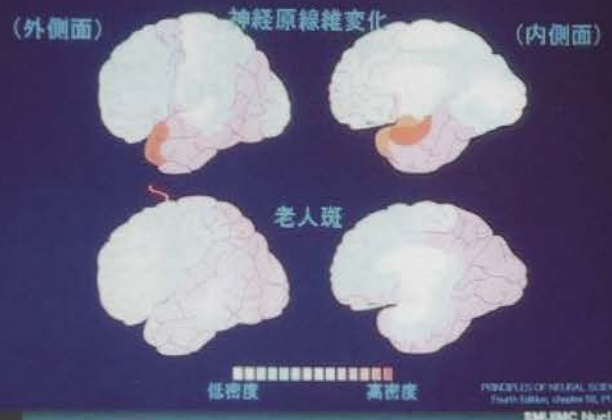
アルツハイマー型認知症の早期画像診断 VSRADを中心に

埼玉医科大学国際医療センター 核医学 松田博史

MRI_AD

JAAD

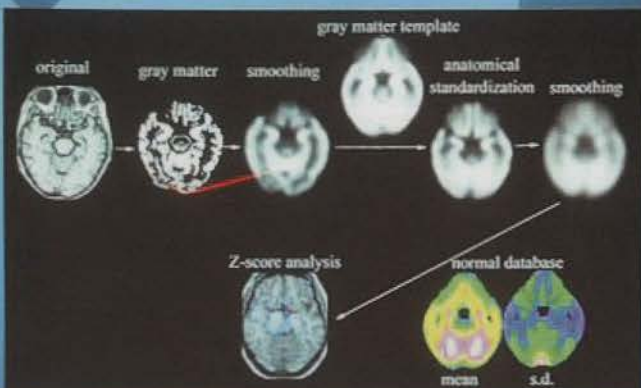
アルツハイマー型認知症脳における 神経原線維変化と老人斑の分布



PRINCIPLES OF NEURAL SCIENCE
Fourth Edition, Chapter 10, p.103
EMUMC Nucl Med

VBM (VSPAD)

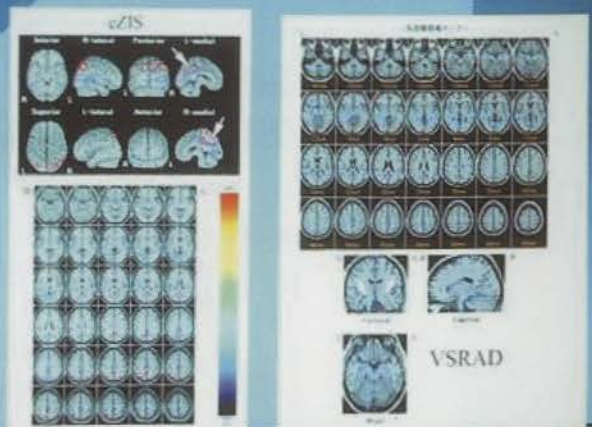
MRI_AD



EMUMC Nucl Med

78F Very early AD at the MCI stage

MRI_AD



EMUMC Nucl Med

MRI_AD

MRI(VSRAD)と脳血流SPECT(eZIS)

- VSRAD(MRI)とeZIS(SPECT)の診断率は同程度
- 若年発症ではeZIS(SPECT)の方が診断率高い
- 高齢発症ではVSRAD(MRI)の方が診断率高い
- 両者を組み合わせると、軽度認知障害の段階でも診断率は90%を超える

SMLJMC Nucl Med

MRI_AD

71歳女性 アルツハイマー型認知症

72歳男性 レビー小体型認知症

右 左
TIWI VSRAD TIWI VSRAD

SMLJMC Nucl Med

MRI_AD

FTLD

- 意味認知症(Semantic dementia; SD)
 - 左側頭葉、特に側頭極に萎縮が見られる。萎縮は扁桃、海馬、視野外皮質、新皮状回、および中、下側頭回に進展するが、右側よりも左側の方が顕著である。さらに、側頭葉の萎縮は前方ほど強いことが特徴である。萎縮は左島皮質や左側頭葉内側および上外側皮質に及ぶこともある。
- 進行性非流暢性失語(Progressive nonfluent aphasia; PNFA)
 - 左シロビウス製局皮質の萎縮が主体であり、Broca 領域を含む左下および中側頭回、左島皮質、左下中心前回、左側頭葉前および後側皮質に萎縮がみられる。

SMLJMC Nucl Med

MRI_

アメリカ ADNI計画

アルツハイマー病の早期診断方法の確立

対象 | 健常者 200人
軽度認知障害の人 400人
アルツハイマー病の人 200人

方法 | MRI PET 糖代謝
アミロイドイメージング
血液・髄液・尿などの採取

ADNI: Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative

SMLJMC Nucl Med

【月例会】

1. 特定健診について (兼清理事)
2. レセプトオンライン化について(佃理事)

Ⅲ. 平成19年度周南三市医師会役員会

日時:平成19年11月9日 午後7時~

場所:ホテル松原屋

- 1)開会のことば
- 2)引受け会長挨拶
- 3)出席役員の紹介
- 4)議事
 - (1)平成20年度要望額について:
(学校医手当、予防接種、健診等出務料)
 - (2)各医師会からの提出議案:
 - ①救急医療(徳山)
 - ②保健医療計画の見直しについて(徳山)
 - ③ブックスタートの導入について(徳山)
 - ④特定健診・特定保健指導について(光)
 - (3)その他
- 5) 閉会のことば
- 6) 懇親会



出席者

徳山医師会 : 小金丸恒夫 福山 勝 岡本富士昭 藤井 一利 河村 一郎 船津 浩彦 吉次 興玄
 下松医師会 : 河野 隆任 秀浦信太郎 中島 洋二 篠原 照男
 光市医師会 : 河村 康明 松村寿太郎 平岡 博 兼清 照久 佃 邦夫 道上 文和
 丸岩 昌文 清水 敏昭 竹中 博昭



資料

学校医報酬について
 予防接種について
 健診等報酬について
 保健医療計画について

IV. 11月定例理事会

日時:平成19年11月13日(火)午後7時30分より

場所:医師会事務局

議題:

I. 報告事項

- 1・郡市妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会(10/11)
- 2・代議員会(10/25)
- 3・郡市成人高齢者保健担当理事協議会(11/1)
 「特定健診・特定保健指導について」
 山医発第554号平成19年11月16日
 特定健診・特定保健指導の標準単価について

(道上理事)
 (河村会長)
 (平岡理事)

資料② 1.郡市妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会

平成19年10月11日(木)午後3時~

場所:山口県医師会館 6階 大会議室

協議事項

1. 今年度の広域予防接種における高齢者のインフルエンザ予防接種期間等について
 - 期間は11月1日から翌年2月29日。例外は、柳井市の10月15日開始、和木町の12月28日終了のみ、いずれ統一されるであろう
 - 摂取料金は4200円、自己負担金は1050円。例外は山口市の自己負担金1200円のみ。下げられないかの質問に、財政難ゆえの答え、持ち帰って検討とのこと。下の額(1050)に統一したい由。
 - 高齢者の2回目のワクチンは有料? 請求書締め切り期間は? ...はっきり文書化せよと砂川氏
2. 来年度の麻疹・風疹の予防接種について
 - 広域予防接種委託契約-委任状 に変更点あり
3. その他
 - DPTでI期初回に3~8週間あけて、3回接種となっているが、諸処の事情で、3~8月は守りにくい。その期間を過ぎたら自費か?(篠原Dr)。厚生労働省から7月に赴任した新課長が守らねばならぬ、救済はできぬの発言に、川田Dr反発。
 - 麻疹排除計画案...平成20年4月1日開始予定
 中1と高3の生徒に、95%以上の摂取率でMRワクチンを打てというもの。
 集団接種か個別接種かで議論伯仲...個別接種がのぞましい
 米は予防接種をしていないと上の学校に上がれない、だから打つ。日本は意識が低い
 - 日脳ワクチンは今もう生産されていない。新ワクチンは2009.5の予定とか
 ワクチン産業対策委員会があって善処してくれるだろう

資料③ 2.郡山口県医師会定例代議員会

平成19年10月25日(木)

場所:山口県医師会館 6階 大会議室

1. 平成19年度上半期事業報告

2. 平成18年度山口県医師会決算

収入 588,094,728

支出 480,948,042

3. 質問

- ① 医師会立看護学校について
- ② 入院基本料の見直しについて
- ③ 臓器売買について
- ④ 在宅医療の負担金について

資料④ 3. 郡市成人高齢者保健担当理事協議会

平成19年11月1日(木)午後3時~

場所:山口県医師会館 6階 大会議室

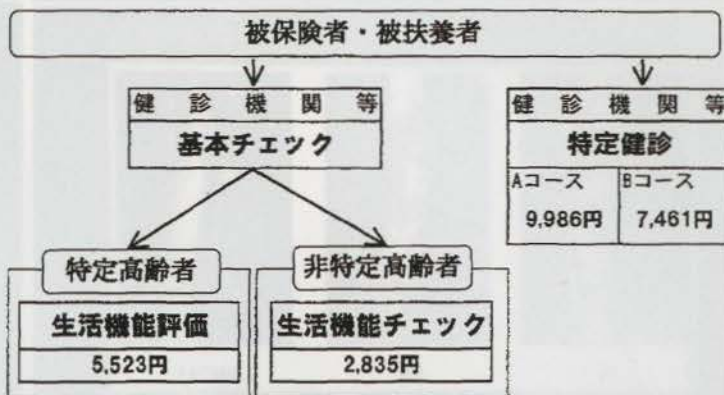
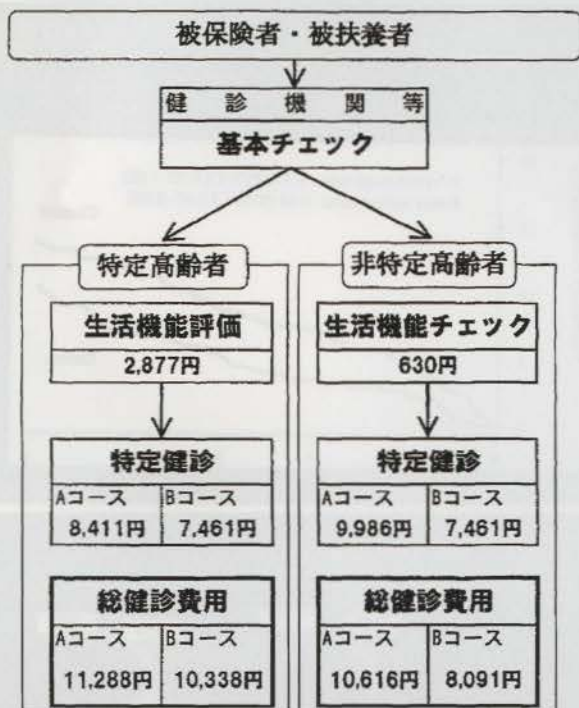
生活機能評価と特定健診の関連

◆同時実施

生活機能評価と特定健診を同じ日に同じ場所で実施する場合

◆個別実施

生活機能評価と特定健診を別の日に別の場所で実施する場合



V. 学術講演会&月例会

【特別講演】

「新しい動脈硬化性疾患予防ガイドラインと
コレステロール低下療法の将来展望」



講師 山口大学医学部附属病院 臨床支援センター
准教授・副部長 梅本 誠治 先生



日時:平成19年11月27日(火)19:00~

場所:光商工会館2階 大会議室

新しい動脈硬化性疾患予防ガイドラインと
コレステロール低下療法の将来展望

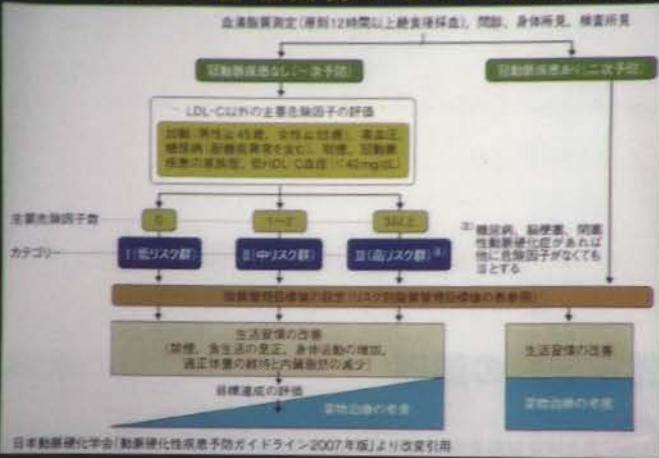
山口大学病院
臨床試験支援センター
梅本誠治

脂質代謝異常の診断基準(空腹時採血)

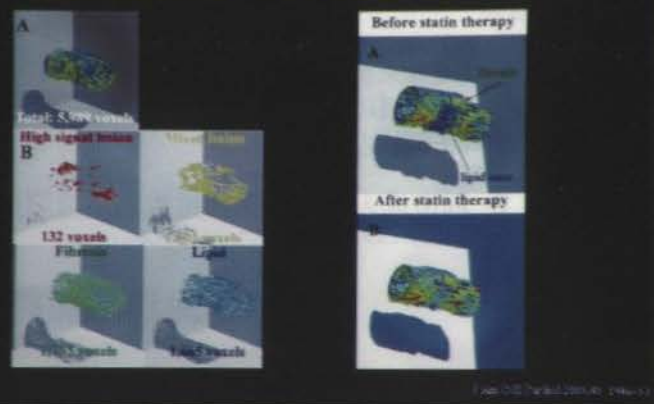
高LDLコレステロール血症	LDLコレステロール	≥ 140mg/dL
低HDLコレステロール血症	HDLコレステロール	< 40mg/dL
高トリグリセリド血症	トリグリセリド	≥ 150mg/dL

この診断基準は薬物療法の開始基準を表記しているものではない。
薬物療法の適応に関しては他の危険因子も勘案し決定されるべきである。
TCで判断する時は220mg/dL以上を高LDL-C血症の目安とする。
原則としてLDL-C値で評価し、TC値は参考値とする。
LDL-C値は直接測定法を用いるかFriedewaldの式で計算する。
(LDL-C = TC - HDL-C - TG/5(TGが400mg/dL未満の場合))
TGが400mg/dL以上の場合は直接測定法にてLDL-Cを測定する。
日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007年版」より引用

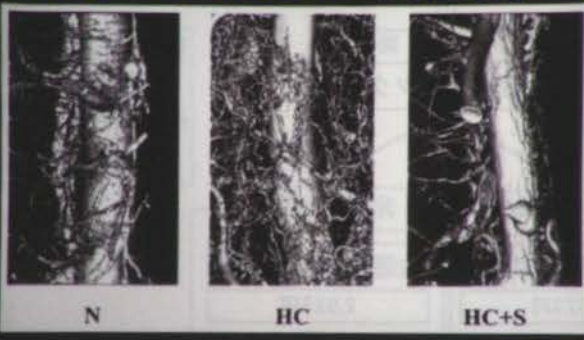
カテゴリーと管理目標からみた治療方針



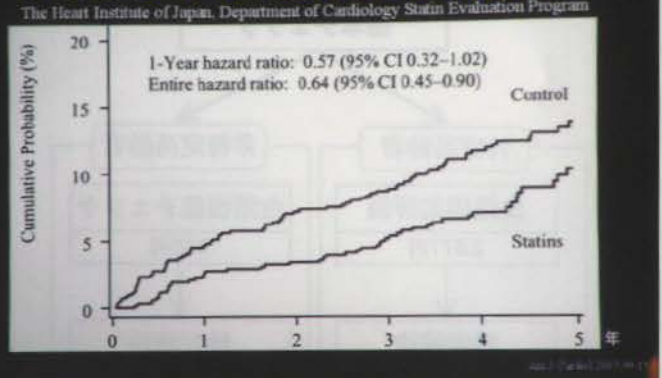
スタチン治療による冠動脈プラークの質的变化



スタチンはVasa Vasorum形成を抑制する



急性心筋梗塞患者に対する常用量スタチンの早期投与と長期予後



リスク別脂質管理目標値

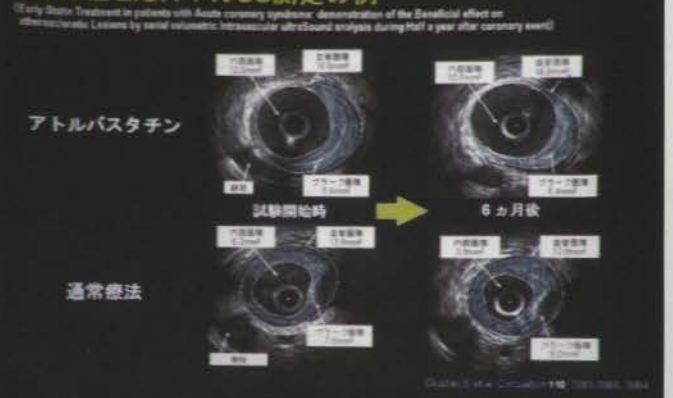
治療方針の原則	カテゴリー	脂質管理目標値(mg/dL)			
		LDL-C以外の主要危険因子*	LDL-C	HDL-C	TG
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後、薬物治療の開始を考慮する	I (低リスク群)	0	<160		
	II (中リスク群)	1-2	<140		
	III (高リスク群)	3以上	<120	≥40	<150
二次予防 生活習慣の改善とともに薬物治療を考慮する	冠動脈疾患の既往		<100		

脂質管理と同時に他の危険因子(喫煙、高血圧や糖尿病の治療など)を修正する必要がある。

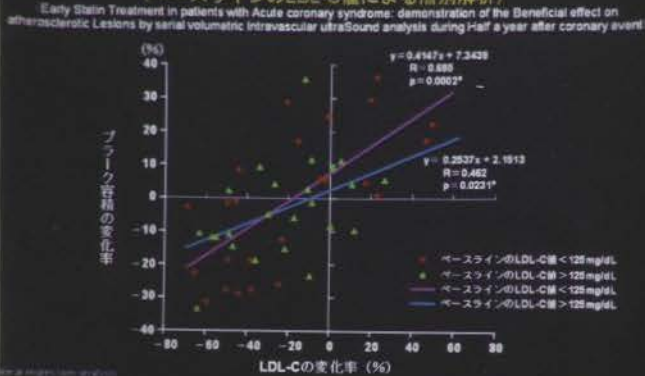
*LDL-C値以外の主要危険因子
加齢(男性は45歳、女性は55歳)、高血圧、糖尿病(空腹血糖値を基に)、喫煙、冠動脈疾患の家系歴、総HDL-C値(<40mg/dL)

1.糖尿病、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症の合併はカテゴリーIIIとする。
2.家族性高コレステロール血症についてはChapter 5を参照のこと。

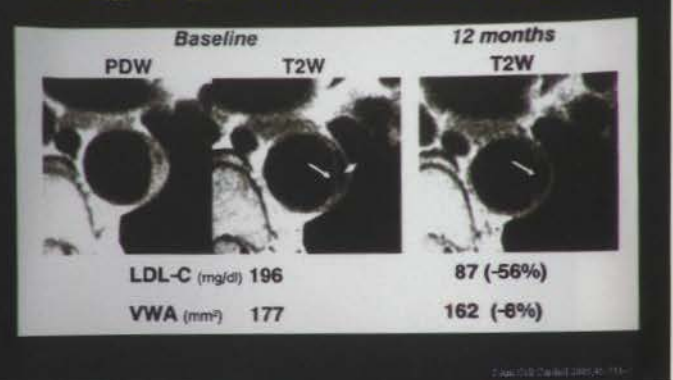
ESTABLISH: IVUS測定の例



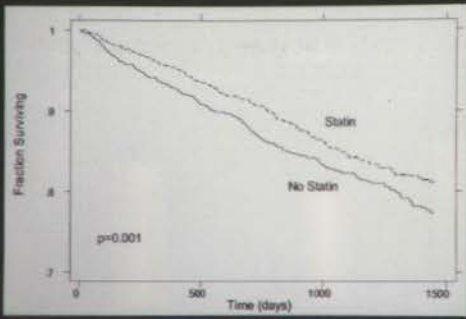
ESTABLISH: LDL-C値とプラーク容積の変化率



56歳 女性 アトルバスタチン20 mg/日

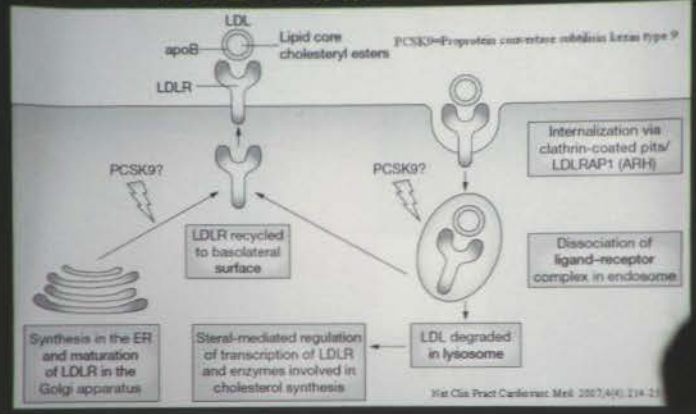


極めて低いLDLレベル(< 60 mg/dL)の患者に対してもスタチンは予後を改善する



Journal of the American Medical Association 2007;297:1301-1308

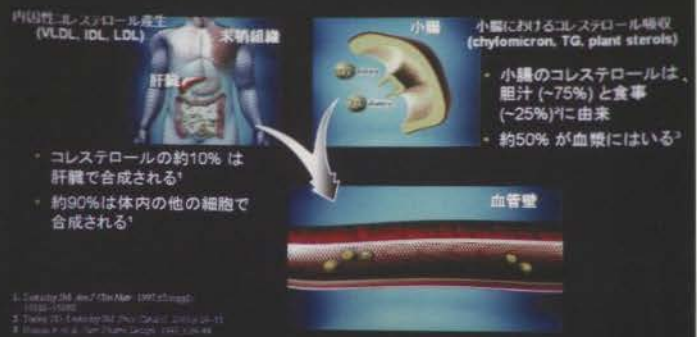
LDLの取り込み・分解とLDL受容体経路



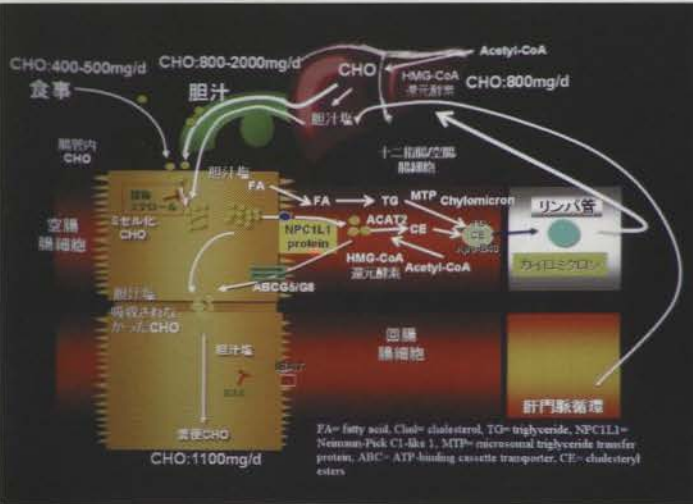
家族性高コレステロール血症

- 常染色体優性遺伝
 - LDL受容体
 - ApoB
 - PCSK9
- 常染色体劣性遺伝
 - LDL receptor adaptor protein (LDLRAP1, or ARH)

血漿コレステロールは産生と吸収の両者に由来する

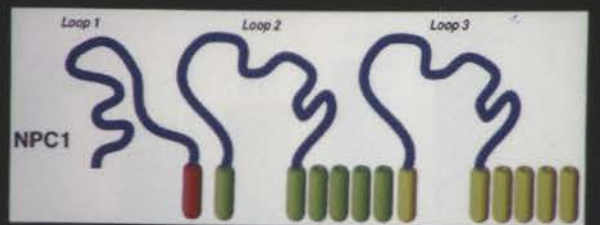


1. Scudiero DM, et al. J Clin Invest. 1997;100:1039-1045.
2. Tallin TD, et al. J Clin Invest. 2003;112:100-111.
3. Brown P, et al. J Clin Invest. 1992;90:100-108.



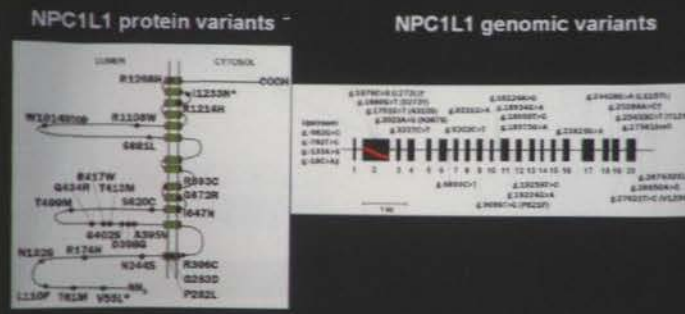
FA= fatty acid, Chol= cholesterol, TG= triglyceride, NPC1L1= Niemann-Pick C1-like 1, MTP= microsomal triglyceride transfer protein, ABC= ATP-binding cassette transporter, CE= cholesteryl esters

Schematic representation of the topologies of NPC1

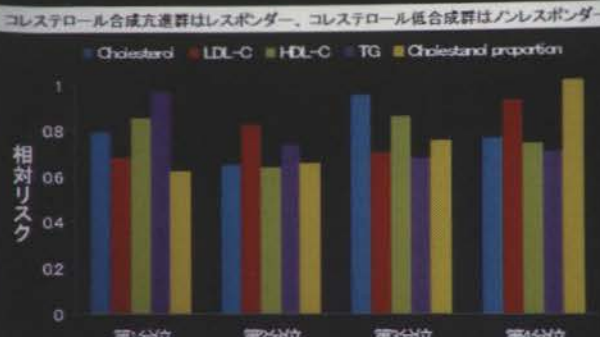


NPC1 shows a repeated domain (yellow and green) composed of six TM domains and a hydrophilic loop that reveals the internal symmetry within these proteins. Human NPC1 contains an additional TM domain with a large hydrophilic loop (red).

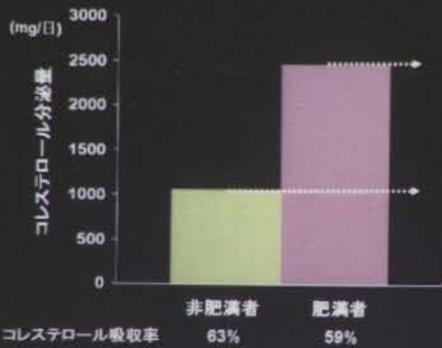
NPC1L1: Evolution From Pharmacological Target to Physiological Sterol Transporter



4Sサブ解析におけるベースラインコレステロール吸収と冠動脈イベント再発率

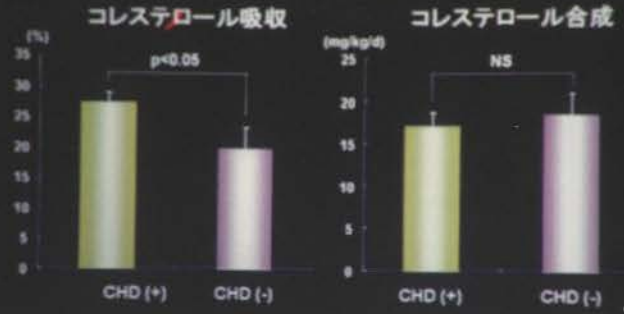


肥満者ではコレステロール吸収量が亢進



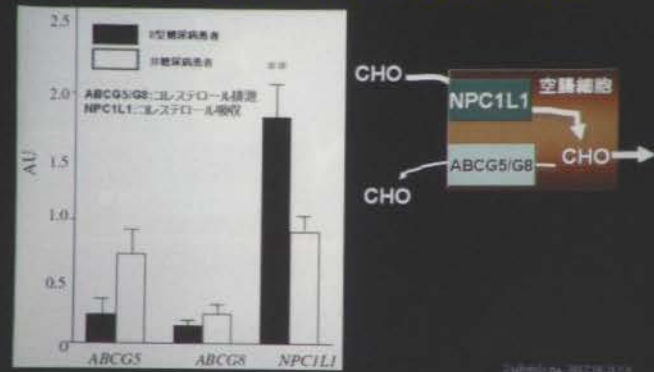
7 Lipid Research (1998) 29

冠動脈疾患合併II型糖尿病患者ではコレステロール吸収が亢進



Subramanian (1996) 116-122

II型糖尿病患者では小腸のABCG5/G8の発現が低下しNPC1L1の発現が亢進

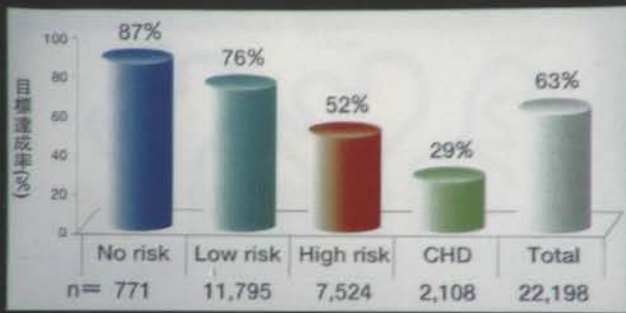


Subramanian (2002) 2177

スタチン単独療法の限界

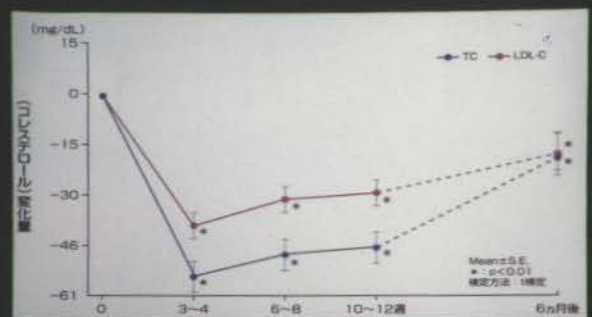
- The rule of six
- スタチンエスケープ現象
- 肝障害・筋症状

LDL-C管理目標値の達成率



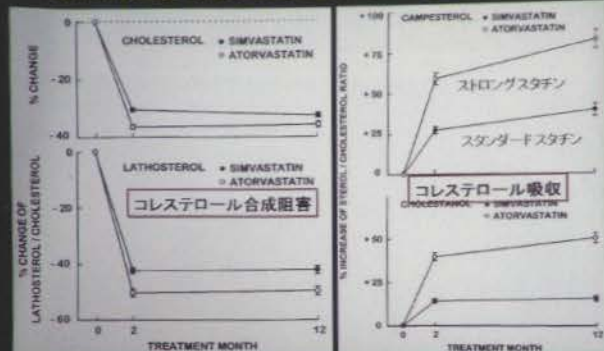
7 J.G.P. 2001

高脂血症患者における長期食事療法の効果



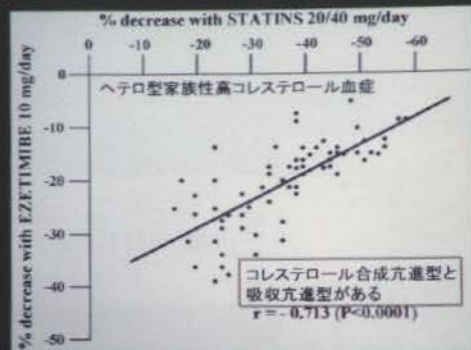
Am J Clin Nutr 2004; 79: 1197-1204

スタチンによるCHO合成阻害は胆汁分泌低下とCHO吸収亢進を引き起こし血中CHO値を上昇させる

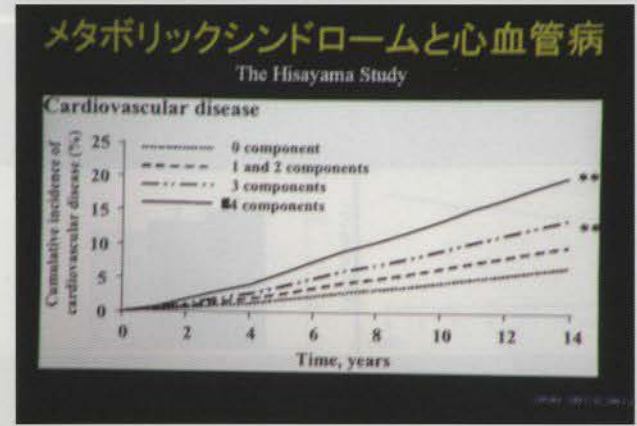
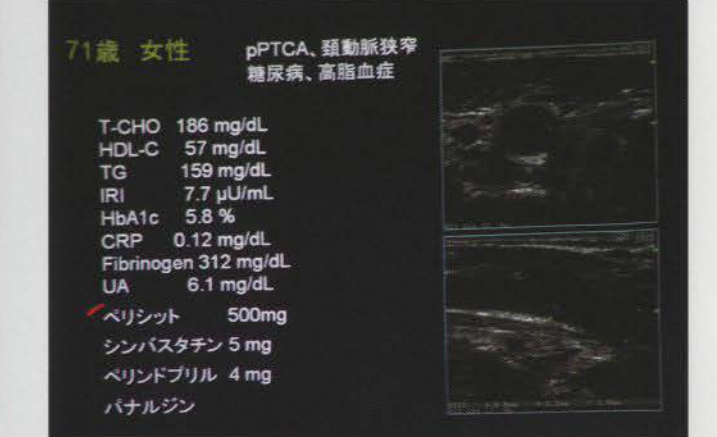
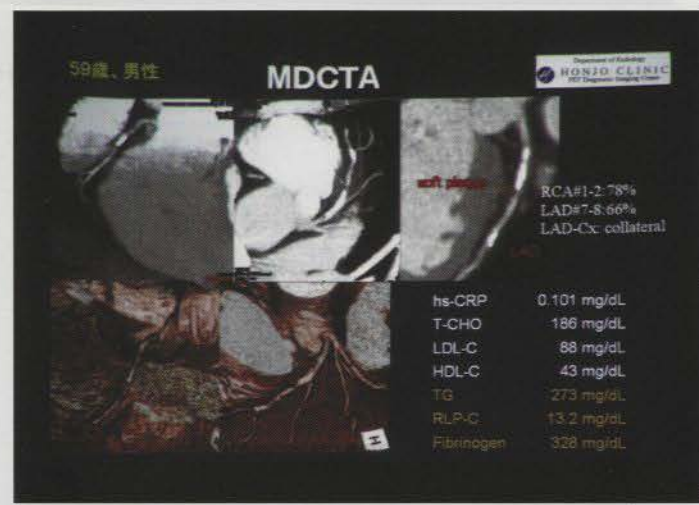
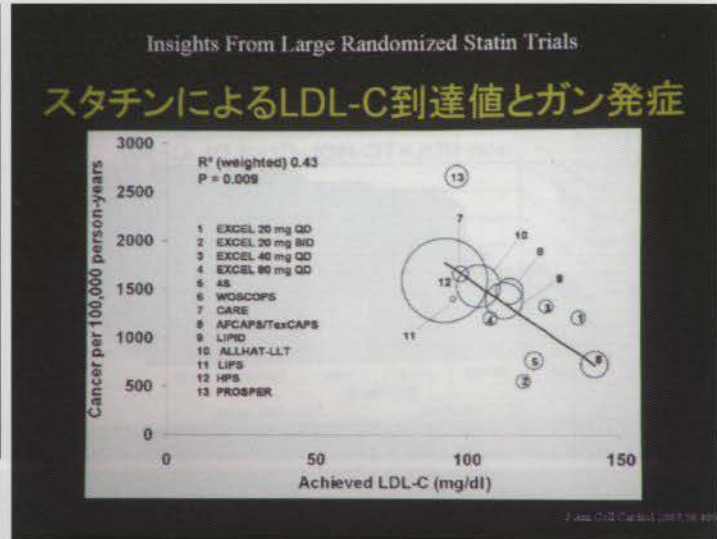
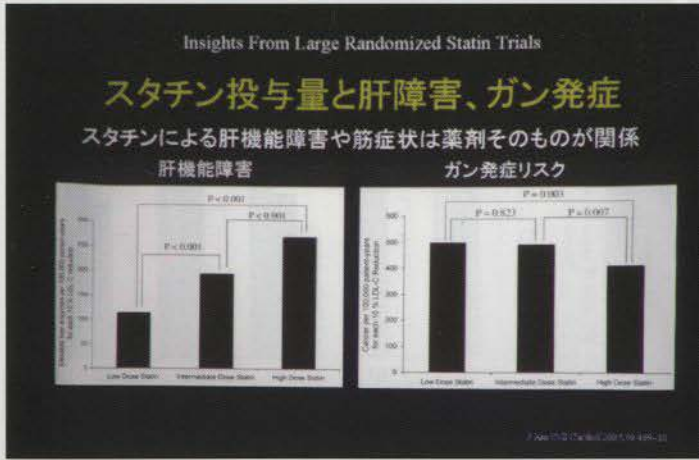


22 J. Lipid Res 2004; 45: 1191-1200

スタチンとエゼチミブによるLDL-C低下



Subramanian (1998) 116-122



保健指導対象者の選定と階層化(その1)

ステップ1 ○ 内臓脂肪蓄積に着目してリスクを判定

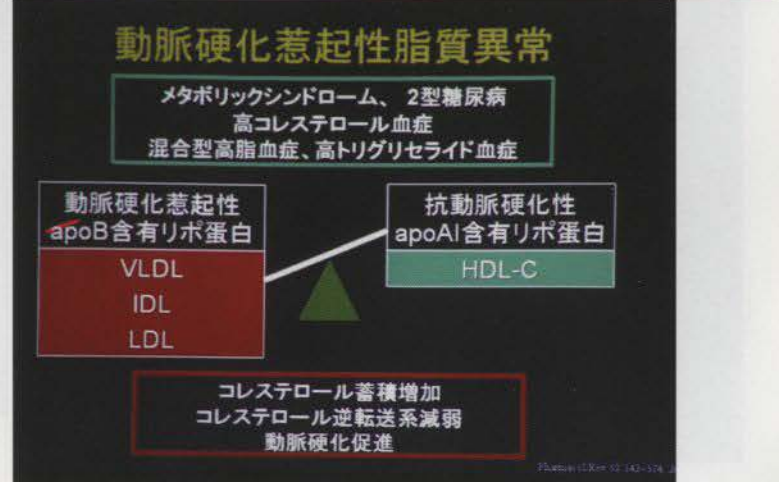
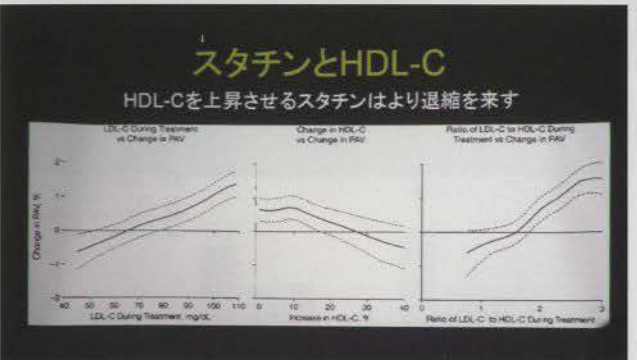
- ・腹囲 M \geq 85cm, F \geq 90cm → (1)
- ・腹囲 M < 85cm, F < 90cm かつ BMI \geq 25 → (2)

ステップ2

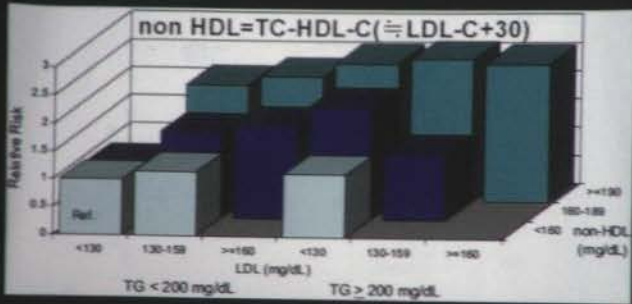
- ①血糖: 空腹時血糖100mg/d以上 又は b HbA1cの場合 5.2% 以上 又は c 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
- ②脂質: a 中性脂肪150mg/d以上 又は b HDLコレステロール40mg/d未満 又は c 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
- ③血圧: a 収縮期血圧130mmHg以上 又は b 拡張期血圧85mmHg以上 又は c 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
- ④質問票: 喫煙歴あり (①から③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント)

ステップ3 ○ ステップ1, 2から保健指導対象者をグループ分け

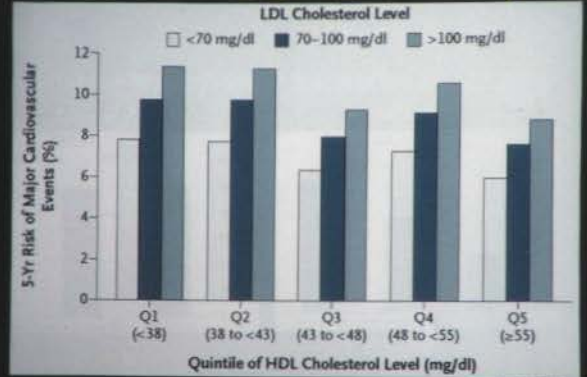
(1)の場合	①~④のリスクのうち追加リスクが 2以上の対象者は 1の対象者は 0の対象者は	積極的支援レベル 動機づけ支援レベル 情報提供レベル	とする。
(2)の場合	①~④のリスクのうち追加リスクが 3以上の対象者は 1又は2の対象者は 0の対象者は	積極的支援レベル 動機づけ支援レベル 情報提供レベル	とする。



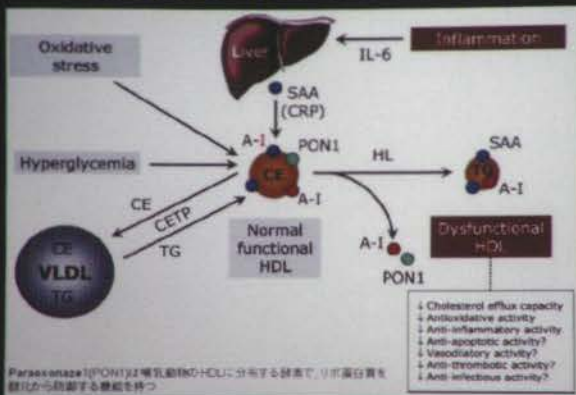
冠動脈疾患リスクに対する TGLレベルとnon-HDL-C, LDL-C



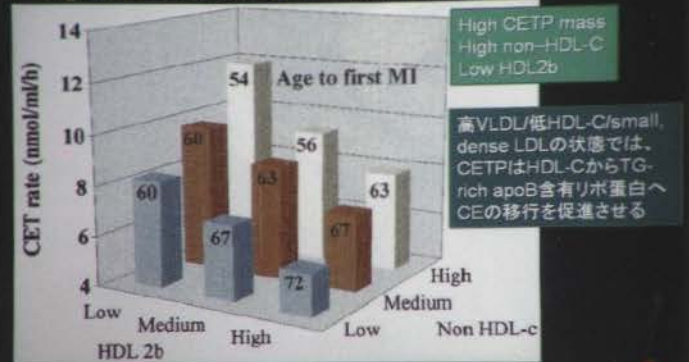
HDL-C, LDL-Cと心血管イベント (TNT)



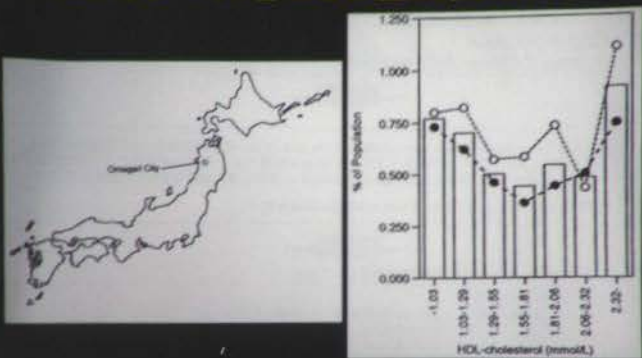
代謝異常疾患による動脈硬化惹起 性脂質異常とHDLの異常



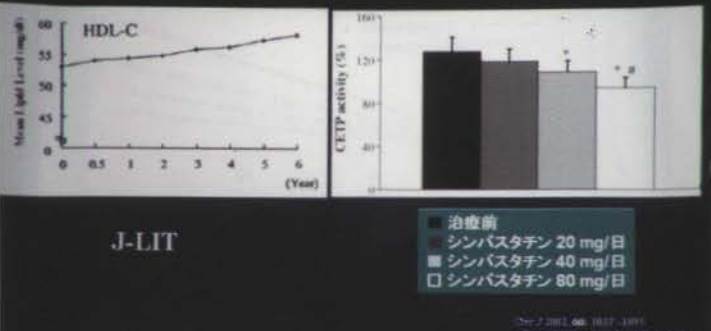
High Serum Cholesteryl Ester Transfer Rates and Small High-Density Lipoproteins Are Associated With Young Age in Patients With Acute Myocardial Infarction



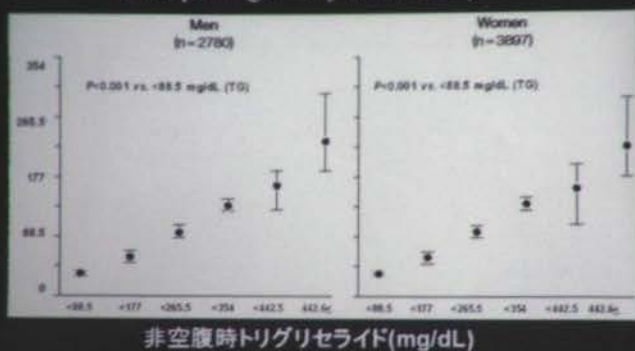
HDL-CレベルとECG虚血変化の関係



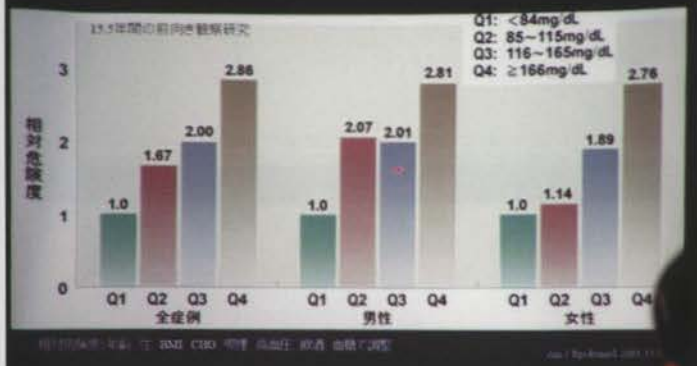
低用量シンバスタチンの HDL-CとCETP活性に対する効果



非空腹時トリグリセライド値とレムナント the Copenhagen City Heart Study

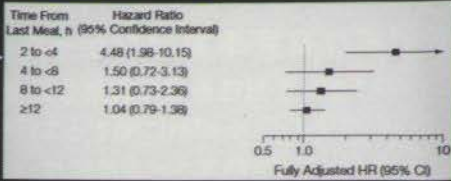


非空腹時トリグリセライド値と冠動脈疾患

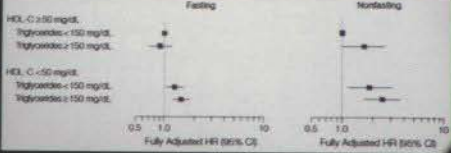


空腹時・非空腹時トリグリセライド値と心血管イベント

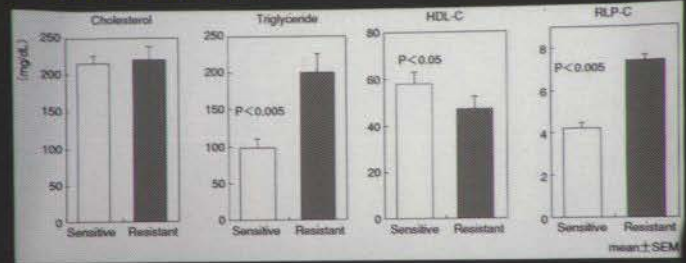
食後時間別TG値と将来の心血管イベント



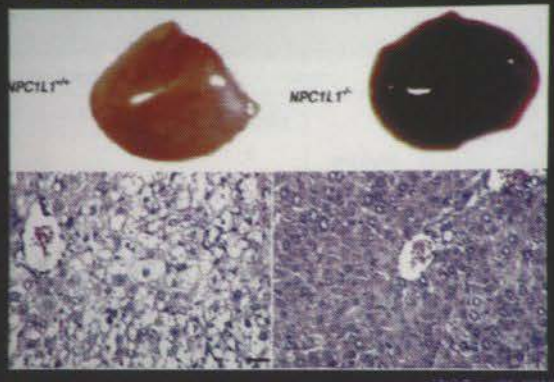
HDL-C別TG値と将来の心血管イベント



インスリン抵抗性を有する非糖尿病の女性における空腹時血中RLP-C値とトリグリセライド値



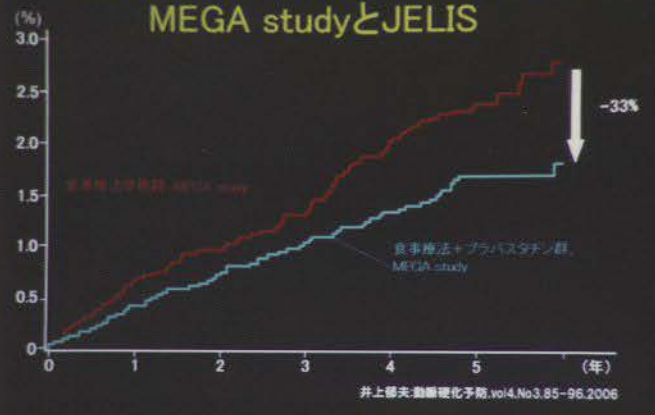
NPC1L1と食事性高脂血症による脂肪肝



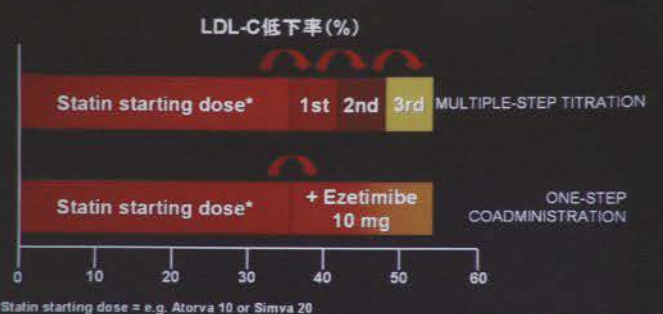
強力な脂質低下療法の安全性 -Combination Therapies-

- ナイアシン
- 陰イオン交換樹脂
- EPA
- エゼチミブ
- プロブコール
- フィブラート

わが国で実施された大規模介入試験 MEGA studyとJELIS



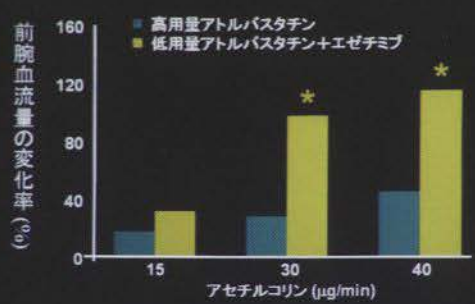
エゼチミブ+スタチン併用療法の原理



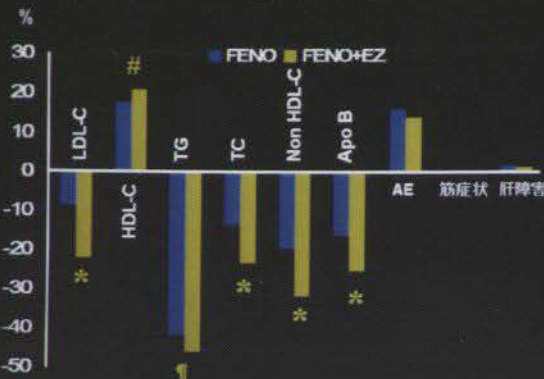
健常男性のLDL受容体とHMG-CoA還元酵素に対するエゼチミブ、シンバスタチンの効果:A randomized trial

	エゼチミブ 10mg/日	シンバスタチン 40mg/日	併用
LDL-C	↓ (22%)	↓↓ (44%)	↓↓↓ (60%)
CHO合成	↑	↓	↔
CHO吸収	↓	↔	↓
HMG-CoA-R遺伝子	↔	↑	↑
LDLR遺伝子	↔	↑	↑
LDLR蛋白	↔	↔	↔
NPC1L1遺伝子	↔	↓ (ns)	↔
PCSK9遺伝子	↔	↑	↑

メタボリックシンドロームと血管内皮機能



複合型高脂血症に対するフィブラート +エゼチミブ長期併用療法(48週間)



フィブラートとエゼチミブの併用

- とくに75歳以上で肝・腎機能障害の懸念
- 重篤な有害事象はなかった
 - スタチン不耐性患者に有効な治療になり得る
 - 心血管イベント抑制に関するエビデンスはまだない
 - 胆石リスクを増加させる可能性
 - フィブラート系薬剤による胆石症増加とエゼチミブによる胆汁中コレステロール含量増加
 - 胆嚢切除術が併用投与群でわずかに高いため注意が必要(1.2%対0.4%)
 - 肥満増加にともなって増加した複合型高脂血症患者は胆石症の有病率も高い

エゼチミブの臨床的位置づけ

- 主にLDL-C高値
 - スタANDARDスタチン常用量
 - スタANDARDスタチン高用量
 - ストロングスタチン
 - ストロングスタチン高用量
 - スタチン+陰イオン交換樹脂
 - スタチン+プロブコール
- LDL-C, TGともに高値
 - スタチン+ニコチン酸
 - スタチン+ EPA
 - フィブラート+陰イオン交換樹脂

リスク別脂質管理目標値

治療方針の原則	カテゴリー	LDL-C以外の主要危険因子	Non HDL	
			目標値(mg/dL)	注
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後、薬物治療の必要性を考慮する	I (低リスク群)	0	<190	
	II (中リスク群)	1-2	<170	≥40
	III (高リスク群)	3以上	<150	<150
二次予防 生活習慣の改善とともに薬物治療を考慮する	冠動脈疾患の既往		<150	
脂質管理と同時に他の危険因子(喫煙、高血圧や糖尿病の治療など)			<130	ある。

*LDL-C値以外の主要危険因子
加齢(男性≥45歳、女性≥55歳)、高血圧、糖尿病(血糖値異常を含む)、喫煙、冠動脈疾患の家族歴、前HDL-C血症(<40mg/dL)
*糖尿病、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症の合併はカテゴリーIIとする。
*家族性高コレステロール血症についてはChapter 6を参照のこと。

VI. 12月定例理事会

日時:平成19年12月11日(火)午後7時30分より

場所:医師会事務局

議題:

- I. 報告事項
 1. 「特定健診料金についての話し合い」について (平岡理事)
 2. 地域医療包括委員会 (河村会長)
 3. 地域医療連携体制調査票について (佃理事)
 4. 平成19年度郡市医師会広報担当理事協議会(12/6) (道上理事)
- II. 協議・承認事項
 1. 休日診療所の案件 (兼清理事)
 - ①小児急患 ②在庫薬剤 ③約束処方について
 2. 山口県ゴルフ大会 (兼清理事)

平成21年光市医師会引き受け
 3. 会計報告(8月~11月) (松村副会長)
 4. 事務局員の賞与の件 (松村副会長)

資料⑤ 1. 「特定健診料金についての話し合い」について

平成19年11月8日(木)

特定健診・特定保健指導の標準単価について

平成19年11月8日

山口県医師会

○ 特定健診

医療機関個別健診における標準単価

<基本的考え方>

- ①診療報酬単価を基準に設定する。
- ②原則として、健診項目は基本健診と同じ項目とする。
- ③②以外の健診項目の単価については郡市医師会と保険者が協議して決める。
- ④標準単価は目安であって、保険者と郡市医師会が協議して決める。

＜標準単価＞

Aコース 9,986円

必須項目+詳細健診(心電図検査+血液検査)

7,461円+(1,575円+950円)=9,986円

Bコース 7,461円

必須項目 7,461円

標準単価(平成19年10月3日現在)

○特定健康診査

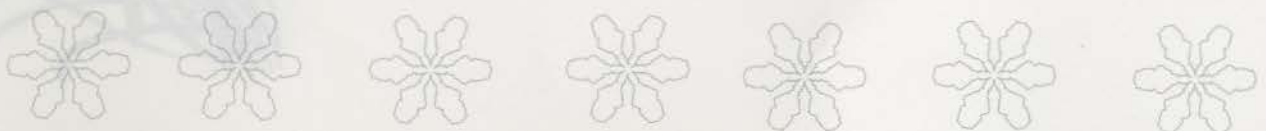
(1)必須項目:医療機関(個別方式)(区分:○…必須□…詳細 ■…選択)

事項	区分	点数	円	消費税	計	備考
生化学的検査(I)						
中性脂肪	○	11点	110			
HDL-コレステロール	○	17点	170			
LDL-コレステロール	○	19点	190			
AST(GOT)	○	17点	170			
ALT(GPT)	○	17点	170			
γ-GT(γ-GTP)	○	11点	110			
空腹時血糖	■	11点	110			
HbA1c	■	27.5点	275			55点×50%=27.5
尿中一般物質定性判定量検査	○	28点	280			
生化学的検査(I)判断料		155点	1,550			
血液学的検査判断料		67.5点	675			135点×50%=67.5
計		393	3,930	196	4,126	
初診料		270点	2,700	135	2,835	
情報提供料			100	5	105	
電子的基準様式によるデータ提出			300	15	315	
検査結果通知書			80		80	
セット(Bコース)			7,110	351	7,461	

(2)詳細な健診の項目:医療機関(個別方式)

事項	区分	点数	円	消費税	計	備考
セット(Bコース)			7,110	351	7,461	
血球形態・機能検査(貧血)	□	90.5点	905	45	950	23点+(135点÷2)=90.5
心電図検査	□	150点	1,500	75	1,575	
セット(Aコース)			9,515	471	9,986	

眼底検査(両眼)	□	56点	1,120	56	1,176	
----------	---	-----	-------	----	-------	--



資料⑥ 4. 平成19年度都市医師会広報担当理事協議会

日時:平成19年12月6日(木)15:00~17:00

場所:山口県医師会館 6階 大会議室

1. 都道府県医師会広報担当理事協議会の報告

《参》県医師会報第1761号(平成19年5月)461頁~

1) 日医の広報活動について

・対内広報

日医ニュース(月2回)

日医FAXニュース(週2回)

・対外広報

TVを使った広報戦術

・・・昨年TVCM3本「認知症」「学校保健」「医師の心無い一言」

・・・三本目はなんかの賞をもらったとか、日医も喜んでいる??

TV健康講座

新聞を媒体とした意見広告

定例記者会見(毎週水曜、TV局・新聞社対象)

緊急記者会見

日医白熊通信

・日本医師会の広報:医師会のネガティブイメージを払拭すべきイメージアップ戦略

中期・長期的広報戦略

・地域医師会の広報:医療制度・疾病に対する啓発活動

2) 都道府県医師会の広報活動

・広島県

HMA-net(組織内イントラネットワーク)を作成し速報デジタル化を図った。10%の会員参加

・福岡県

医療モニター制度(通称「メディベチャ」)で対外活動

・・・①県医HP、広報誌でモニター募集(医療関係者は除く)、広報担当理事が募集原稿をもとに選定

・・・②第一回会合、広告代理店が会を司り、モニターに自由に発言してもらい、医師会は一切口を挟まない

・・・③第二回会合で医師会も中に入りグループ討議を行う

・・・④第三回会合、モニターの意見を集約し→県民公開講座開催

→医師の利益団体で医師を守るものだという医師会のイメージが、少しはうすれ、モニターは県民と医師をつなぐパイプ役になりたいと思うようになった?

・山口県

TVと新聞の利用

・TYS、午後6時台のニュース番組「スーパー編集局」の特集、昨年12月から月1・2回放送

・新聞記事の中に医療問題をより多く取り扱ってもらい

県医師会主催行事への報道取材(県政記者クラブ)の要請

記者会見を活用し、医師会の主張を伝える

医療機関の報道取材への協力が必要

★広報活動の目的は、日本医師会と会員・国民との相互の広報活動

とにかく医師会の「イメージアップ」をはかりたい、

昨年5月出版の「医療崩壊」(小林秀樹著)

医療を扱う記者の目が患者一辺倒から、客観的になってきた、今がチャンス

医師会は「医師の利益代表」ではなく「国民と共に最善の医療を考える団体」「国民の声を代弁する団体」にしたい

2. 日医の対外広報について

3. 県医の対外広報について

4. ディスカッション(各群市の広報活動の取り組みについて)

宇部医師会が「医師会かわらばん」を出している。



VII.

忘年会

日時:平成19年12月14日(金)午後7時30分より

場所:金久旅館



連絡事項

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
10	4	山口県医師会	特定健診・特定保健指導機関登録等の事務手続きについて
	5	山口県医師会	塩酸メチルフェニデート（リタイン）その他向精神薬の適正使用、処方箋に係る疑義照会について 麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について 「使用上の注意」の改訂について
		山口県医師会	第14回地域リハビリレーション研修会について
		山口県医師会	手動式肺人工蘇生器の自主回収等について
		山口県医師会	さい帯血を提供した小児が白血病等を発症した際の報告について
		山口県医師会	災害時の人工透析提供体制の確保について
		山医発451	AED・ACLS インストラクターの登録について
		山医発461	特定健診等機関あてリーフレットの送付について
		山医発462	平成19年度食生活改善普及運動に対する協力依頼について
		山医発458	平成19年度日本医師会認定産業医制度基礎研修会の開催について
		山医発463	「平成19年度第2回在宅医研修会」の開催について
		山医発464	特定健診・特定保健指導への対応方針及び標準単価について
	9	山医発459	創立120周年記念講演・公演の開催について
	12	山口県医師会	特定健診・特定保健指導に係る単価資料について
	15	山口県医師会	手動式肺人工蘇生器の自主回収等について
		山口県医師会	日本郵政公社の民営化に伴う日本郵政公社共済組合組合員証の変更に係る取り扱いについて 医薬品の適用外使用に係る保険診療上の取り扱いについて 使用薬剤の薬価等の一部改正について
		山口県医師会	郵政民営化に伴う政管健保保険者証の変更に係る取り扱いについて
		山口県医師会	「院内感染対策サーベイランス」について
		日本医学会	日本医学会シンポジウム開催について
	16	山口県医師会	電子マニフェスト普及促進キャンペーンの期間延長ならびに帳簿作成について
		山口県医師会	「公的病院等における診療科別医師数調査」協力をお願い
		山口県医師会	「特定健康診査・特定保健指導に関するQ&A集」の送付について
		山口県医師会	平成19年度産業医学専門講習会（東京会場）の開催について
		山医発483	都市特定健診・特定保健指導担当理事協議会の開催について
		山医発486	健康やまぐちチャレンジ月間の実施について
	17	周健1705	第2回周南圏域認知症支援社会資源連携活用推進会議の開催について
	19	山医発488-1	平成19年度都市医師会広報担当理事協議会の開催について
		山医発492	平成19年度市町の広域における高齢者のインフルエンザ予防接種機関等について
		山医発484	医療法人制度改正講習会の開催について
		周健1729	「女性のがん予防出前講座」の講師の派遣について
		山医発490	定例代議員会の議案の送付について
	22	山医発495	石綿健康管理手帳に係る健康診断委託医療機関の要件について
	23	山口県医師会	医療広告ガイドラインに関するQ&A（事例集）について 第十五改正日本薬局方の第一追補の制定について
	26	山口県医師会	インフルエンザワクチン需要予測のための調査について
	29	山口県医師会	平成19年度山口県介護保険研究大会の開催について
		山医発504	平成19年度インフルエンザ予防対策について
		山医発502	日本医師会認定健康スポーツ医制度による再研修のご案内
		山口県医師会	新潟県中越沖地震による政府管掌健康保険及び船員保険の一部負担均等の減免措置について 組合員証等のカード化等に伴う事務の取り扱いについて 材料価格基準の一部改正等について
		山口県医師会	国際共同治験に関する基本的考え方について
		山医発506	平成19年度全国医師会共同利用施設総会の開催について

		山医発505	麻しん排除計画の実施に係る実施主体における事前準備について
30		山消検15	平成19年度山口県消化器がん研究会総会並びに第47回講習会の開催について
31		山口県医師会	「過重労働・メンタルヘルス対策に関する研修会」並びに「精神科医等のための産業保健研修会」の開催について

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
11	5	山医発521	石綿健康管理手帳に係る健康診断委託医療機関の公募について
		山医発523	山口県医師会産業医研修会並びに山口県医師会産業医部会総会の開催について
		山医発524	第13回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について
		山医発530	インフルエンザワクチンの安定供給の状況と対策について
	7	山医発531	住居表示の変更について
		山口県医師会	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における結核患者の入退院及び就業制限の取り扱いについて」の一部改正について
		山口県医師会	学校保健法施行規則一部改正について
	9	山医発539	病院内保育所運営費補助金交付要綱の一部改正について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価の一部改正について 平成20年度診療報酬改訂に係る「要望書」の提出について
		山医発537	「子育て文化創造条例」地域懇談会の開催について
		山医発535	映画「ジッコ」上映会に関するご協力について
		山医発534	顕彰の会報掲載について
		山医発536	日本脳炎患者の発生について
		山口県医師会	フィブリノゲン製剤等によるC型肝炎感染の疑いのある患者への対応について エルトチニブ塩酸塩製剤等の使用に当たっての留意事項について
		山医発528	電子マニフェスト普及促進に関するアンケートのお願い
	12	山医発542	「がん検診実施体制強化モデル事業実施要綱」の送付について
		山医発543	平成19年度乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間の実施について
		山口県医師会	薬剤耐性菌による院内感染対策の徹底及び発生後の対応について
		山口県医師会	平成19年度「児童虐待防止推進月間」の実施について
		山医発545	麻しん排除計画に係る「予防接種法施行令の一部を改正する政令」に関するご意見募集(パブリックコメント)の実施について
	13	周健1889	平成19年度12月分診療所立入検査の実施について
		山口県医師会	後期個別指導予定について
		山口県医師会	「いわゆる混合診療に係る東京地裁判決への日本医師会の見解」の送付について
		山口県医師会	硫酸クロビドル製剤の使用に当たっての留意事項について 塩酸メチルフェニデート製剤の使用に当たっての留意事項等について
	16	山口県医師会	フィブリノゲン製剤を投与された方々に対するお知らせ等について
	19	山医発554	特定健診・特定保健指導の標準単価について
		山医発552	平成19年度山口県医師会学校医研修会 平成19年度山口県医師会学校医部会総会 平成19年度山口県医師会予防接種医研修会の開催について
		山医発549	郡市医師会長会議の開催について
	20	山医発551	山口県医師会及び日本医師会の会員数調査について
		山医発558	平成19年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について
	26	山医発566	特定健診・特定保健指導の研修に関する厚生労働省通知等について
		山医発564	平成19年度学校医講習会の開催について
		山医発562	フィブリノゲン製剤を投与された方々に対する相談対応について
		山医発561	平成19年度母子保健講習会の開催について
		山口県医師会	健康増進法に基づく「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」の一部改正について
		山口県医師会	第2回都道府県医師会特定健診・特定保健指導担当理事連絡協議会の開催について
		日本医師会	「診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する試案—第二次試案—」について
	27	山医発569	郡市特定健診・特定保健指導担当理事及び関係者合同会議の開催について
		事務連絡	処方せんへの病名記載の必要性について

		山口県医師会	医療法人の定款変更について 「国民が安心できる医療のために一産科・小児科・救急医療を守る」の送付について 「国民共同治験 in Hamamatsu」の開催について 厚生労働省が実施する「医療安全推進週間」について 「診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する試案―第二次試案―」について
	29	山口県医師会	インフルエンザワクチンの卸在庫の情報提供について
		山医発568	平成19年度 地域医療連携体制調査について
		山医発574	都市医師会地域医療担当理事協議会の開催について
		山医発572	平成19年第2期分生命保険団体事務費及び事務費の消費税の送金について
		山医発573	第2回都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会の開催について
受 付		発 送 番 号	通 達 文 書 名
月	日		
12	3	宇部市医師会	山口県医師会囲碁大会のご案内
		山医発582	特定健診の電子データ化への対応調査について
		山医発578	平成20年度の税制改正及び診療報酬改訂に係る要望について
		山医発576	医療施設に係る開発許可制度の変更について
		山口県医師会	医療機関における感染性胃腸炎等の院内感染防止対策の徹底について
		山医発577	山口県医師会 IT フェアの開催について
		山口県医師会	山口県病院内保育所運営事業実施要綱の一部改正について 医療機関における安全管理体制について
		山医発580	地域医師会と各弁護士会との懇談会の実施について
		山医発579	日本医師会生涯教育制度「認定証」送付について
	4	山医発589	第3回新年互例会の開催について
		山医発586	肝炎対策の実施について
		山口県医師会	意見広告掲載の件
	7	山医発529	かかりつけ医認知症対応力向上研修会の開催について
		山医発594	特定健診・特定保健指導の集合契約の成立に向けた概要説明及び地域医師会等契約取りまとめ機関による特定健診・特定保健指導の契約にむけた作業の工程資料の送付について
		山医発593	麻しん排除計画案に係る「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令」及び「予防接種法施行規則の一部を改正する省令」に関するご意見募集の実施について
		山医発591	今冬のインフルエンザ総合対策の推進について
	11	山医発601	次期の山口県医師会代議員及び予備代議員の選出について
		山医発603	針刺し後の HIV 感染防止体制の整備について
		山医保発95	組合会議員選出方について
	14	山医発604	抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について
		山医発617	「第2回特定健診・特定保健指導研修会」の開催について
	17	山口県医師会	診療行為に係る死因究明制度（案）に対する要望書の提出について
		山医発613	中学生・高校生に対する MR 予防接種における標準料金について
		山医発612	妊婦健診公費負担について
		山医発611	医師のための TUE 申請ガイドブックの配布について
	18	山医発614	交通事故医療に関する未解決事例の報告について
		山口県医師会	平成20年度有害物ばく露作業報告対象化学物質について
		事務連絡	ポスター「鳥インフルエンザについてのお願い」「ひろげるなインフルエンザ」及び「ノロウイルスに注意しましょう！」の送付について
		日本医師会	平成20年度診療報酬改定率について
	25	山医発624	第45回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座（体験学習）の受講者募集について
	28	山医発632	介護療養型医療施設療養環境原産の廃止に関する情報提供について
		山医発620	分娩を取り扱う助産所の嘱託医師及び嘱託する病院又は助産所の確保について
		山口県医師会	塩酸メチルフェニデート製剤の流通管理について
		山医発627	特定健診・特定保健指導の費用決済及びデータ送受信の代行業務についてのパンフレットの送付について
		山医発628	麻しん及び風しんの全数調査への移行にについて
		山口県医師会	「在宅介護の感染防止マニュアル」のご案内
		山医発631	特定病原体等の適正な取り扱いについて
		山医発626	医療機能情報提供制度の実施について
		山医発623	第4回「指導医のための教育ワークショップ」報告書の送付について

2007

総合防災訓練in光

9/2



新会員

★入会			
平成19年11月1日		(医)陽光会 光中央病院	
	落合康一 先生		
★異動(B会員→A会員)			
平成19年7月17日		光市立光総合病院→虹ヶ浜皮フ科クリニック	
	藤山純一 先生		
★退会			
平成19年8月24日		(医)陽光会 光中央病院	
	丸岩 巖 先生		
平成19年8月31日		光市立大和総合病院	
	木村皇太郎 先生		
平成19年9月30日		光市立光総合病院	
	菅 淳 先生		

10~12月休日当番医報

		内科系	外科系	
10月	7 (日)	10	17	
	8 (月)	32	13	
	14 (日)	20	8	
	21 (月)	16	5	
	28 (日)	22	6	
	計	100	49	149

11月	3 (土)	29	7	
	4 (日)	30	4	
	11 (日)	24	9	
	18 (水)	19	6	
	23 (金)	35	4	
	25 (日)	19	5	
	計	156	35	191

12月	2 (日)	29	7	
	9 (日)	31	2	
	16 (日)	25	7	
	23 (日)	32	3	
	24 (月)	44	20	
	30 (日)	44	33	
	31 (月)	70	18	
		計	275	90

あ と が き

化けの皮がはがされつつ、2007年が暮れていきます。無理がたたって、ぼろが出てきた世の中は、来年どうなるのでしょうか。民営化・自由競争といわれ、その気になっていたら、なんてことはない、自由競争を知らない自分であった、と皆が気づきはじめてのでしょうか。ぼろは着てても心の錦・・・
来年が、真の時代になりますように

発行所 光医師会
TEL(0833) 72-2234
発行日 平成19年 12月31日
発行者 河村康明
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社